

JOCエリートアカデミーだより



【卓球】

世界ジュニア卓球選手権

2016年世界ジュニア卓球選手権大会が11月30日から12月7日までケープタウン(南アフリカ)で開催され、龍崎君(帝京高)、張本君(稲付中)、平野さん(大原学園高)が日本代表として出場しました。



【張本君】 写真:卓球王国



【龍崎君(上段左から2番目)、張本君(上段右から2番目)、平野さん(下段右から2番目)】
写真:(公財)日本卓球協会

この大会、日本は男子団体で10年ぶりの優勝、女子団体も中国を破り6年ぶりの優勝を果たしました。同じ大会で男女とも優勝は日本初の快挙です。

また、男子シングルスでは厳しい試合の中で持ち前の勝負強さを発揮した張本君が決勝に進出し、決勝でも楊碩選手(中国)を4対2で下して張本君は史上最年少優勝を果たしました。さらに男子ダブルスでは、龍崎君と張本君の日本ペアが準優勝を果たしました。

《主な成績》

- 【男子シングルス】張本優勝
- 【女子シングルス】平野さんベスト8
- 【男子ダブルス】龍崎・張本組準優勝
- 【混合ダブルス】張本・平野組ベスト8
- 【男子団体】日本(龍崎、張本)優勝
- 【女子団体】日本(平野)優勝

【卓球】

ワールドツアーグランドファイナル

2016年ワールドツアーグランドファイナルが12月8日から11日までドーハ(カタール)で開催されました。

この大会は、世界各地で開催されていたワールドツアーでの年間ポイントランキングの上位者のみが出場を許される非常にレベルの高い大会で、今回も中国をはじめとする強豪国のトップ選手が出場しました。エリートアカデミーからは張本君、平野さん、浜本さん(大原学園高)の3名が出場しました。

女子ダブルスで他の日本選手とペアを組んだ浜本さんが香港ペアを4対2で破り優勝を果たしました。また女子シングルスでは、平野さんがシンガポールの強豪などを倒して3位に入りました。強豪選手の多く出場したこの大会でメダル獲得できたことは、大変評価出来るものです。

また、この大会期間中にITTFスターアワードの授賞式が開催され、目覚ましい活躍を見せた選手に贈られる「ブレイクスルー賞」



【平野さん】
写真:(公財)日本卓球協会

を平野さんが獲得しました。これは2016年のワールドカップでの最年少優勝などが評価された結果です。平野さんは表彰式で、関係者への感謝の気持ちなどを英語でスピーチしました。今回の表彰について平野さんは「この賞は1年間の努力の軌跡であり、これを大きな励みとしてこれからも頑張っていきたい」と話していました。

【レスリング】

全日本選手権

天皇杯平成28年度全日本選手権が12月21日から23日まで代々木競技場第2体育館(東京)で開催されました。今年にはリオオリンピック終了後の大会とあって2020年の東京オリンピック出場を狙う選手が数多く出場しました。

大会初日の21日に行われた女子55kg級では、南條さん(安部学院高)が決勝で全日本選抜選手権2位の角谷萌々果(至学館大)を5-2で下し、優勝しました。10月に開催された岩手国



【南條さん】



【須崎さん】
写真:(公財)日本レスリング協会

体での悔しい試合をばねに今回の大会に臨んだ南條さんは1回戦、準決勝を失点ゼロと完璧に試合をすすめて勝利し、決勝でも「勝ちたい」という強い気持ちで自分のレスリングを貫き、5対2で勝利しました。

また、22日の48kg級には須崎さん(安部学院高)が出場し、1回戦から決勝までの4試合すべてで失点ゼロという圧倒的な力を見せ、本大会初優勝を果たしました。昨年は決勝で破れ2位となり、悔しい思いをし、その悔しさを1年間の練習にぶつけてきた成果が発揮された大会となりました。また、須崎さんは今年出場した全ての大会で優勝という素晴らしい結果を残しました。優勝を果たした2名はいずれも17歳と

レスリング界に大きな衝撃を与えるとともに2020年に向けた大きな一歩となりました。

修了生では女子の53kg級で向田さん(至学館大)が初優勝、53kg級で宮原さん(東洋大)、75kg級で古市さん(日本大)が準優勝しました。男子では86kg級で白井君(日本大)が準優勝、65kg級で乙黒圭祐君が3位という成績を残しました。また、最終日に行なわれた平成28年年間表彰で乙黒拓斗君(帝京高)が全国高等学校体育連盟年間最優秀選手、佐藤君(稲付中)が全国中学生連盟年会最優秀選手としてそれぞれ表彰を受けました。

【フェンシング】 全日本選手権(個人)

平成28年度全日本フェンシング選手権大会の個人戦が12月1日から3日まで駒沢オリンピック公園総合運動場体育館で開催されました。

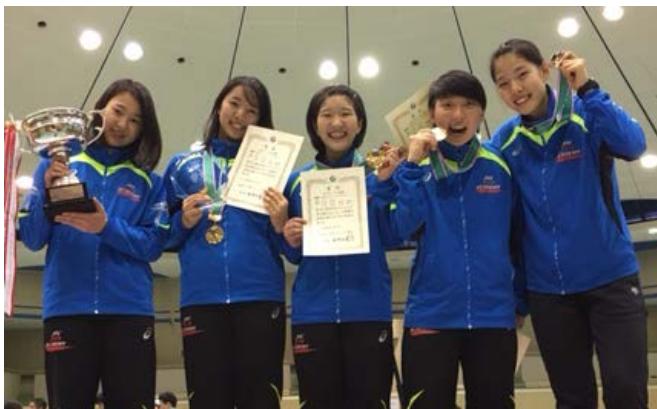
女子サーブルに出場した、向江さんと江村さん(大原学園高)は2名とも大会の1週間前に行われたシニアランキングマッチの決勝まで勝ち残っており、どちらも優勝のチャンスが十分にありましたが、準々決勝で対決することとなりました。お互いの手の内が分かっている難しい状況でしたが、向江さんが後半主導権を握り勝利しました。準決勝に進んだ向江さんですが、戦略スタイルを変えた相手に対応が遅れ惜敗し、3位となりました。

《主な成績》

・女子サーブル個人 向江 3位、江村 5位、脇田 11位

【フェンシング】 全日本選手権(団体)

平成28年度全日本フェンシング選手権大会団体戦が12月23日から25日まで伊予三島運動公園体育館(愛媛)で開催され、「JOCエリートアカデミー」として女子サーブルチームが出場しました。同メンバーで昨年優勝を果たしましたが、昨年は「協会推薦チーム」として出場したため、「JOCエリートアカデミー」としては初出場となりました。



【(左より)高嶋さん、向江さん、月野さん、脇田さん、江村さん】

大会前から優勝候補には上げられており、周囲からのプレッシャーも大きく、苦戦が予想されましたが、全員が優勝に向けて一丸となり、快勝することができました。特に脇田さん(帝京高)は、ケガで欠場の高嶋さんの代わりというプレッシャーと緊張があったにも関わらず、試合では安定したパフォーマンスができており、今後の更なる活躍が期待されます。

【水泳/飛込】 ジュニア世界選手権

2016年ジュニア飛込世界選手権が11月30日から12月4日までカザン(ロシア)で開催され伊藤君(帝京高)と遠藤君(稲付中)が日本代表として出場しました。エリートアカデミーからの世界ジュニア飛込選手権出場は始めてで、伊藤君と遠藤君が世界の中でどのような位置につけているかを知る上でも貴重な大会となりました。

両名とも目標としていた種目で決勝進出を果たしたことは大きな成果です。特にBoyB 1m飛板飛込で遠藤君が4位に入賞を果たしたことは、本人にとっても大きな自信となり、今後に繋がる大きな結果となりました。また、伊藤君もBoyA 3m飛板飛込では10位という結果に終わりましたが、演技は評価できるものでした。

一方本大会では、BoyA 1m飛板飛込で銀メダルを獲得したコロンビアをはじめとして、メキシコやエジプトなどの活躍が目を見ました。飛込は中国が大きな勢力ですが、そのコーチ達が各国で指導しており、その結果競技力がそれほど高くなかった国々が徐々に力をつけています。優秀なコーチが国籍に捕われず世界中に分散する傾向は、飛込だけに限らず多くの競技で見られるものです。それらの国々と戦っていくためには、選手の育成強化だけでなく、コーチの質と量を増やして行くことも必要です。

【主な大会予定】

【レスリング】

- ◆齋藤つよし杯
 - ・参加者: 神
 - ・日程: 1/7-8
 - ・会場: 神奈川県

【卓球】

- ◆全日本選手権
 - ・参加者: 全員
 - ・日程: 1/16-22
 - ・会場: 東京体育館
- ◆ジュニアサーキットファイナル
 - ・参加者: 宇田、加藤、竹内
 - ・日程: 1/25-29
 - ・会場:

【フェンシング】

- ◆JOC杯
 - ・参加者: 永野、吉田、葉、向江、江村、脇田、月野、丸山
 - ・日程: 1/7-8
 - ・会場: 駒沢体育館(東京)

◆カデサーキットスロバキア大会

- ・参加者: 丸山
- ・日程: 1/14-15
- ・会場: スロバキア

◆ワールドカップパリ大会

- ワールドカップエクサンプロバンス大会
 - ・参加者: 永野
 - ・日程: 1/20-22、1/28-29
 - ・会場: フランス

【ライフル射撃】

- ◆国際エアガン大会
 - ・参加者: 清水、上田、植田
 - ・日程: 1/24-30
 - ・会場: ミュンヘン

JOCエリートアカデミー 平成28年度修了式について

今年度のJOCエリートアカデミー修了式は3月19日(日)に実施いたします。詳細については別途ご連絡いたします。

JOCエリートアカデミーだよりは以下のHPでもご覧いただけます。
<http://www.joc.or.jp/training/ntc/eliteacademy>

